ADDZEST

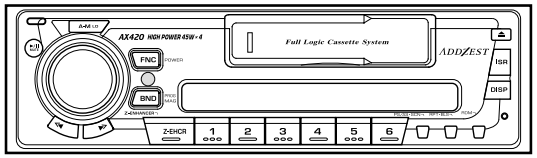
カセットセンターユニット

AX420

取扱説明書

目次 Page>>>

C-BUS



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの**「取扱説明書」**をよくお読みください。

●お読みになったあとは、いつでも見られる場所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

●保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●この取扱説明書には、C-BUSで結線されるCDチェンジャーの操作説明も含まれています。(CDチェンジャーをお買い求めの場合、この製品に操作説明書は付属していません)

目　次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長 4
ご使用の前に 5
　安全に正しくお使いいただくために 5
　安全上のご注意 6
取扱上のご注意 9
　本体のお手入れについて 9
　本機の取り扱いについて 9
　カセットテープについて 9

本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

■各部の名称とはたらき

本体部 10
別販リモコン(RCB-158)の使いかた 12

■基本の操作

電源を入れる 14
音量を調節する 14
モードを選ぶ 14
時計表示に切り換える 15
時刻を合わせる 15
ラウドネス効果をON/OFFする 16
音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能) 16
音質を調整する 17
バランス/フェダーを調整する 17

■ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ 18
音を消す(ミュート) 18
手動選局する(マニュアル選局) 18
自動選局する(シーク選局) 19
プリセット選局する 19
プリセットメモリーする 19
自動メモリーする(オートストア機能) 20
放送局を確かめる(プリセットスキャン) 20
ISRにメモリーする 21
ISRメモリーを呼び出す 21

■テープを聴く

カセットテープを入れる 22
カセットテープを取り出す 22
すでに入っているカセットテープを聴く 22
演奏を止める(一時停止) 23
早送り/巻き戻しする 23
次の曲/演奏中の曲の頭を選ぶ(APC) 23
カセットテープの演奏面を切り換える 23
聴きたい曲を探す(スキャン演奏) 23
繰り返し聴く(リピート演奏) 24
曲間をとばして聴く(ブランクスキップ) 24

外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャーを接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

■CDチェンジャーを操作する

CDチェンジャーモードを選ぶ 25
聴きたいCDを選ぶ 25
演奏を止める(一時停止) 26
次の曲/前の曲を選ぶ 26
早送り/早戻しする 26
聴きたいマガジンを選ぶ 26
最初の曲から聴く(トップ機能) 26
聴きたい曲を探す(スキャン演奏) 27
聴きたいCDを探す(ディスクスキャン演奏) 27
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏) 27
1枚のCDを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏) 27
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏) 28
全CDの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏) 28

その他

システム例 29
　システムアップについて 30
故障と思われる前に 31
エラー表示について 32
仕　様 33
アフターサービスについて 34

主な特長

本機は、AM/FMラジオとカセットデッキを一体にし、別販のCDチェンジャーを接続してコントロールできる C-BUS 結線対応のセンターユニットです。

■ Z-エンハンサー機能

• 3 種類の音質効果メモリーを備え、お好みの音質を即座に設定できます。

■ラジオ部

• 聴きたい放送局を、どのモードからでもすぐに選局できる ISR 機能
• プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12 局、AM12 局をメモリー
• メモリーした放送局を順番に受信するプリセットスキャン機能

■カセットデッキ部

• 全演奏曲の最初の 10 秒間ずつを演奏するスキャン機能
• 1 曲を繰り返し演奏するリピート機能
• 2 秒間以上の無録音部を検出し、自動的に早送りして、録音されているところだけを演奏するブランクスキップ機能

■ CD チェンジャーコントロール部

別販の CD チェンジャーをコントロールする次のような機能を備えています。
• 演奏中の曲またはディスク 1 枚を繰り返し演奏するリピート機能
• 全演奏曲または全 CD の 1 曲目の最初の 10 秒間ずつを演奏するスキャン機能
• 1 枚の CD または収納している全 CD の曲を順不同に演奏するランダム機能

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
ディスプレイにエラーが表示されたときには、32ページを参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作にもどります。

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠ 警 告

●走行中は運転者による操作をしない・・・

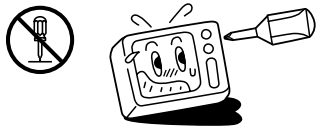
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない・・・

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。

●本機を分解したり、改造しない・・・

事故や火災、感電の原因となります。



●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する・・・

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

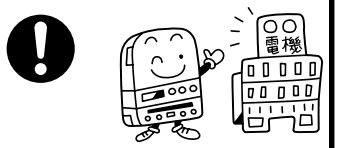
⚠ 警 告

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する・・・

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する・・・

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注 意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。

●カセット挿入口に手や指を入れない・・・

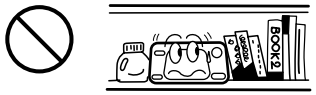
ケガの原因となることがあります。

●カセット挿入口に異物を入れない・・・

火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない・・・

感電やケガの原因となることがあります。



●アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない・・・

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。

●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする・・・

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

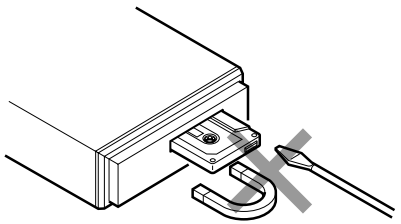
ご注意

ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

本機の取り扱いについて

●本機は水分や高音、多湿を嫌いますので、車内清掃や換気に十分ご注意ください。

●ヘッドおよびカセットテープに、磁石やドライバー等を絶対に近づけないでください。



●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることは、やめてください。

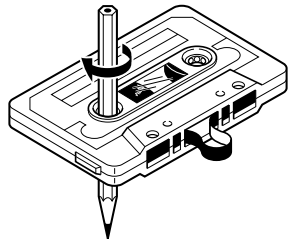
⚠警 告

本機を分解したり改造したりしないでください。事故や火災、感電の原因となります。

カセットテープについて

■ 取り扱い上のご注意

●カセットテープ挿入時にテープがゆるんでいると誤動作を起こす場合がありますので、テープのゆるみを直してからご使用ください。



●C-120タイプのカセットテープは、テープ自身が非常に薄く、伸びたり、切れたりするため、ご使用は避けてください。

●ラベルのはがれかかったカセットテープ、また、ケースの変形しているカセットテープは、メカニズムの故障の原因となりますので、ご使用は避けてください。

●ヘッドが汚れると高音域が低下します。いつも良い音質でお聴きいただくため、ヘッド表面を時々クリーニングしてください。市販のクリーニングテープを使用すると便利です。なお、クリーニングにはシンナーやベンジンは絶対に使用しないでください。

●長時間ご使用にならないときは、カセットテープを本機から抜き取り、ケースに入れて保管してください。

■ 保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

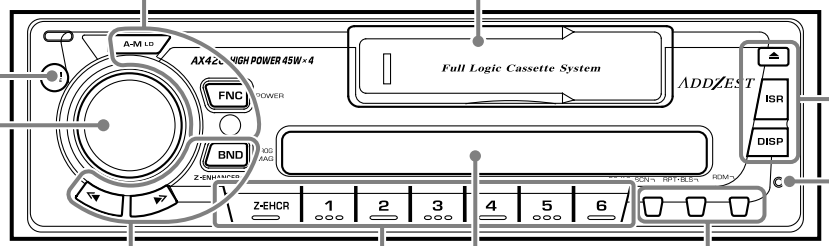
●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

各部の名称とはたらき

本体部



オーディオモードボタン
A-M LD
- 音質やバランス、フェダーの調整モードに切り換えます。
- 押し続けると、低音と高音を強めるラウドネス効果をON/OFFします。

ファンクションボタン
FNC
- 電源を入れ、各モードを切り換えます。1秒以上押し続けると、電源が切れます。

リモコン受光部

プレイ/ポーズボタン
▶/II MUTE
- テープモード、CDチェンジャーモード時に、演奏/一時停止します。
- 音量を一時的に消音します。

ロータリーボリューム
- 時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
- 音質/バランス/フェダーを調整します。

バンドボタン
BND
- ラジオモード時は、バンドの切り換えや、自動/手動選局を切り換えます。
- テープモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)

サーチアップボタン
- ラジオモード時は選局、テープモード時は選曲します。
- CDチェンジャーモード時は選曲します。また押し続けると早送りします。
- 各種設定時にも使用します。

サーチダウンボタン
- ラジオモード時は選局、テープモード時は選曲します。
- CDチェンジャーモード時は選曲します。また押し続けると早戻しします。
- 各種設定時にも使用します。

ダイレクトボタン(1〜6)
1 〜 6
- ラジオモード時に、放送局のメモリーや、直接呼び出しをします。
- CDチェンジャーモード時に、CDを選択します。

Z-エンハンサーボタン
Z-EHCR
- 音質を3段階に切り換えます。

カセットテープ挿入口

リセットボタン

イジェクトボタン
- テープが入っているときに押すと、テープがイジェクトされます。

ISRボタン
ISR
(ISR:Instant Station Recall)
- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼びだします。

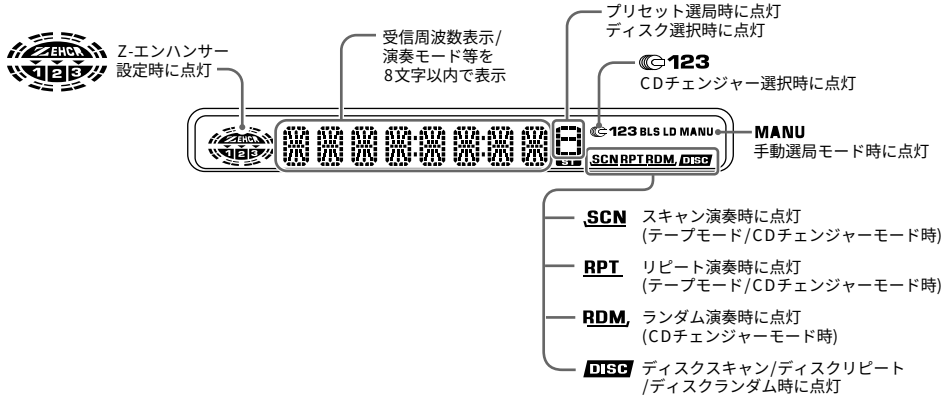
ディスプレイボタン
DISP
- 時計表示と選局/演奏状態表示を切り換えます。

スキャンボタン
PS/AS・SCN
- テープモード、CDチェンジャーモード時に、10秒間ずつスキャン演奏します。
- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

リピートボタン
RPT・BLS
- テープモード、CDチェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。

ランダムボタン
RDM
- CDチェンジャーモード時に、ランダム演奏をします。

表示部



各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-158)の使いかた

モードを選ぶ
ファンクションボタン

●電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ→テープ→(CDチェンジヤー)

●押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する
▲▼(ボリューム)ボタン

バンドを切り換える/演奏面を切り換える
バンドボタン

●受信バンドを切り換えます。(ラジオモード時)
●カセットテープの演奏面を切り換える

次のCDを演奏する
バンドボタン

●次のCDを演奏します。(CDチェンジャーモード時)

音を消す
ミュートボタン

●ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す
ISRボタン

●ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。
●元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

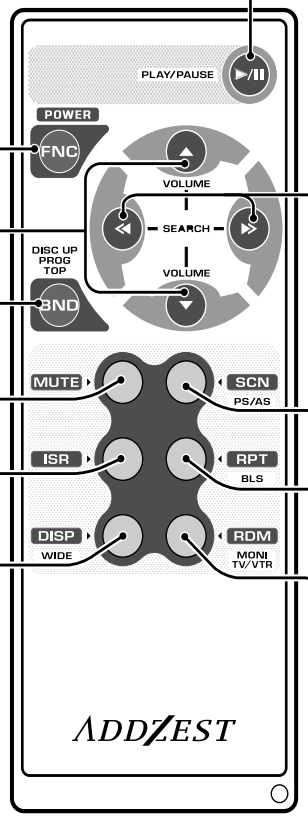
表示を切り換える
ディスプレイボタン

●次のように表示を切り換えます。

・ラジオモード
周波数表示 → 時計表示

・テープモード
演奏モード/走行方向表示 → 時計表示

・CDチェンジャーモード
トラックNo./プレイタイム表示 → 時計表示



演奏する
▶/II(プレイ・ポーズ)ボタン

●演奏と一時停止をします。
(テープ/CDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する
≪ ≫ サーチボタン

●押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(CDチェンジャーモード時)
●プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオモード時)
●≫を2回押すと、次の曲を演奏します。(APC機能)
≪を2回押すと、演奏中の曲を初めから聴くことができます。(テープモード時)

曲を探す/放送局をプリセットする
スキャンボタン

●スキャン演奏します。
(テープモード、CDチェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
(CDチェンジャーモード時)
●プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオモード時)
●また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオモード時)
●解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する
リピートボタン

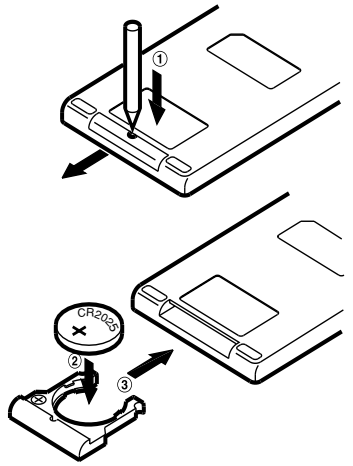
●繰り返し演奏します。(CDチェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CDチェンジャーモード時)
●解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する
ランダムボタン

●ランダム演奏します。(CDチェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CDチェンジャーモード時)
●解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。

■電池の入れかた

①リモコンを裏返して、先のとがった物を矢印の方向に押しながら、ふたを引き出します。
②付属の電池(CR2025)を図のような向きにして入れます。
③「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



⚠警 告

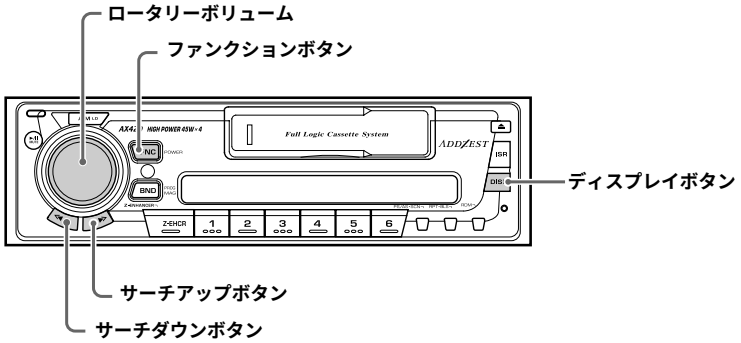
事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注 意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- **指定電池以外は使用しない。**
- **電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。**
- **電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。**
- **使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。**

基本の操作



⚠警 告

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。また、走行中にピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしないでください。

電源を入れる

1 エンジンをかける（ACC またはエンジン ON の位置にする）

→時計表示になります。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。

- 時刻の設定は、「時刻を合わせる」（次ページ）をご覧ください。

2 ファンクションボタンを押す

FNC

→前回の電源を切ったときのモードで電源が入ります。

■電源を切るには

ファンクションボタンを押し続ける（約1秒間）

→電源が切れ、時計表示になります。

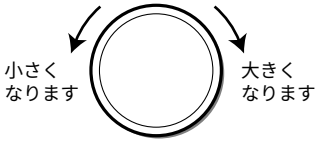
ご注意

音量が大きいときは、小さくしてから電源を切ってください。

音量を調節する

ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回す

→調整値（「VOLUME 13」等）を表示します。



⚠注 意

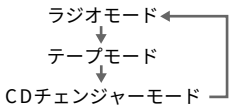
運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

モードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ

FNC

→ファンクションボタンを押すたびに、次のように切り換わります。
接続していない機器のモードは表示しません。



- テープが入っていないときは「NO CASS」、CDチェンジャーにマガジンが入っていないときには、「NO MAGA」を表示します。

時計表示に切り換える

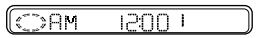
ディスプレイボタンを押す

DISP

→押すたびに、次のように切り換わります。

・ラジオモード/テープモード
（表示はラジオモード時の例）

・時計表示



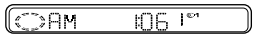
- 時計表示のときは、選局等のボタン操作時に受信周波数等を約４秒間表示した後、元の時計表示に戻ります。

● CD チェンジャーモードの場合

ディスプレイボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

・演奏トラックNo.と演奏時間
（プレイタイム）表示

・時計表示



時刻を合わせる

時計表示について

車のエンジン作動時（ACC ON時）に時計を表示します。

1 ディスプレイボタンを押して、時計表示にする

DISP

ご注意

時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻調整は解除されます。
点検や修理などでバッテリーをはずすと、時計も止まります。もう１度時刻合わせをしてください。

2 ディスプレイボタンを押し続ける（約1秒間）

DISP

3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して時刻を合わせる

＜時のセット＞　＜分のセット＞

→サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押すたびに、時または分が進みます。

- サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押し続けると早送りします。

4 ディスプレイボタンを押す

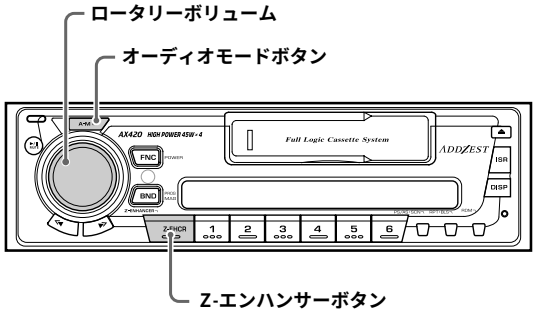
DISP

→時刻が設定されます。

ご注意

時刻を確認するときは、時計表示に切り換えて確認してください。

基本の操作



ラウドネス効果を ON/OFF する

小音量でお聴きになるときは

低音を強調するラウドネスの自然な音質をおすすめします。

オーディオモードボタンを押し続ける(約 1 秒間)

A-M LD

→オーディオモードボタンを押し続ける（約1秒間）たびに、ON/OFFが切り換わります。ラウドネス効果が「**ON**」に設定されると、「 **LD** 」が点灯します。

音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能)

Z-エンハンサー機能について

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- Z-エンハンサー 1：低音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー 2：高音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー 3：低音と高音を重視したサウンド

※初期設定は「**OFF**」です。

1 Z-エンハンサーボタンを押す

Z-EHCR

→「 」が点灯します。

2 Z-エンハンサーボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

Z-EHCR

→ Z-エンハンサーボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

Z-エンハンサー1
↓
Z-エンハンサー2
↓
Z-エンハンサー3
↓
Z-エンハンサーOFF

音質を調整する

1 オーディオモードボタンを押して、音質調整(BASS または TREB)を選ぶ

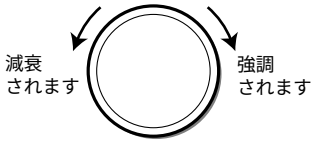
A-M LD

→ディスプレイに「BASS 0」等を表示して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 音質調整(BASSまたはTREB)はZ-エンハンサー機能がOFFのときに調整できます。

低音部調整(BASS)
↓
高音部調整(TREB)
↓
左右スピーカーの調整(BAL)
↓
前後スピーカーの調整(FAD)
↓
元のモード

2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する



- 低音部(BASS)の調整範囲は、－6～＋6です。
- 高音部(TREB)の調整範囲は、－6～＋6です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

A-M LD

バランス / フェダーを調整する

1 オーディオモードボタンを押して、バランス(BAL) またはフェダー(FAD)を選ぶ

A-M LD

→ディスプレイに「BAS 0」等を表示して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

低音部調整(BASS)
↓
高音部調整(TREB)
↓
左右スピーカーの調整(BAL)
↓
前後スピーカーの調整(FAD)
↓
元のモード

2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する

●左右スピーカーの調整(BAL)

- 調整範囲は、L9～R9です。

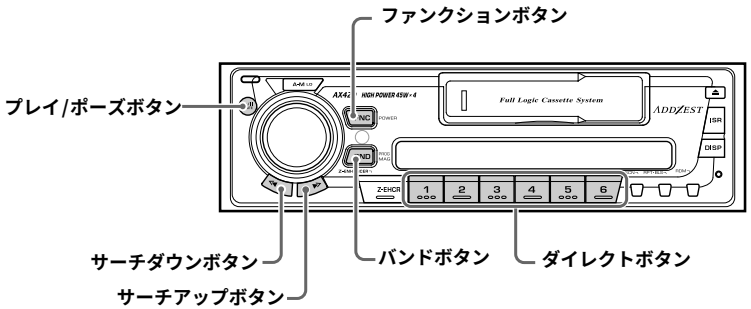
●前後スピーカーの調整(FAD)

- 調整範囲は、R9～F9です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

A-M LD

ラジオを聴く



ラジオモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

FNC

→受信バンドと周波数(「FM1 8300」等)を表示します。

ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオモード → テープモード → CDチェンジャーモード → ラジオモード

音を消す(ミュート)

プレイ / ポーズボタンを押す

▶/II MUTE

→「MUTE」を表示します。

■元の音量に戻すには

もう 1 度、プレイ / ポーズボタンを押す

→「MUTE」が消えて、元の音量になります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 または AM1、AM2 を選ぶ

BND

2「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

BND

→「**MANU**」が点灯すると、手動選局です。

3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、放送のあるところに合わせる

(または)

自動選局する(シーク選局)

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 または AM1、AM2 を選ぶ

BND

2「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

BND

→「**MANU**」が消灯しているときは、自動選局です。

3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押す

(または)

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

プリセット選局する

プリセット選局について

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 または AM1、AM2 を選ぶ

BND

- バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

FM1→FM2→AM1→AM2→FM1

2 ダイレクトボタン(1 ～ 6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ

1 2 3 4 5 6

- ダイレクトボタンにメモリーするときは、「プリセットメモリーする」をご覧ください。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2 の各バンドごとに 6 局ずつ、計 24 局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(FM1、FM2 または AM1、AM2)を選ぶ

BND

2 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

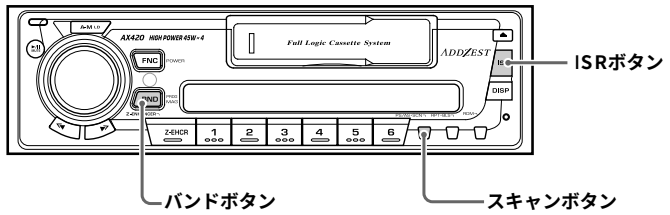
(または)

3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)

1 2 3 4 5 6

→受信している放送局がダイレクトボタンにメモリーされます。

ラジオを聴く



自動メモリーする（オートストア機能）

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド（FM1、FM2またはAM1、AM2）を選ぶ

BND

2 スキャンボタンを押し続ける(約 2 秒間)

PS/AS・SCN¬

→受信電波の強い放送局が、自動的にダイレクトボタン(1〜6)にメモリーされます。

ご注意

- **自動メモリーすると、これまでのメモリー内容は消去されます。**
- **自動メモリーは、プリセット6局のメモリーが完了するまで、順にメモリーしていきます。**
- **メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを 2 回繰り返しても 6 局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンには、それまでのメモリーが残ります。**
- **すでにメモリーしている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。**

放送局を確かめる(プリセットスキャン)

スキャンボタンを押す

PS/AS・SCN¬

→プリセットメモリーされた放送局を、順に受信します。

- 受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

■プリセットスキャンを解除するには

もう 1 度、スキャンボタンを押す

ISR にメモリーする

ISR（Instant Station Recall）機能について

どのモードからでもすぐに特定のラジオ放送1局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聴きたい情報をすばやく選局できます。

- 工場出荷時にはAM 1,620kHz(交通情報)がメモリーされています。

1 メモリーしたいラジオ局を選局する

- ラジオの選局については、「18〜19ページ」をご覧ください。

2 ISRボタンを押し続ける(約2秒間)

ISR

→ISRボタンにメモリーされます。

ISR メモリーを呼び出す

ISR ボタンを押す

ISR

→ディスプレイに(ISR 1620)を表示します。

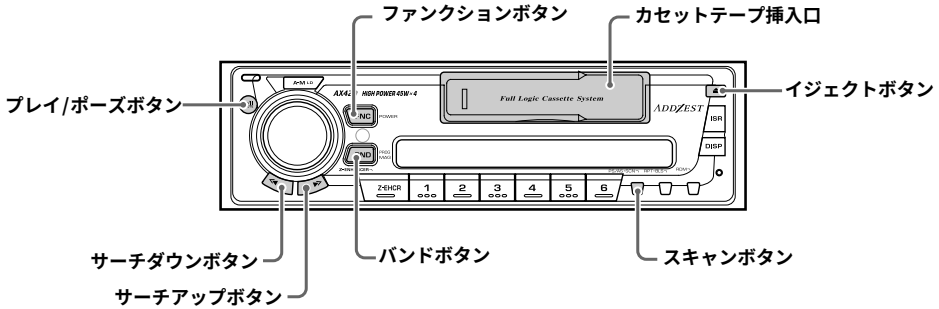
- ラジオ以外のモードからでも呼び出すことができます。

■ISR を解除するには

もう 1 度、ISR ボタンを押す

→ディスプレイの「ISR 1620」が消灯し、元のモードに戻ります。

テープを聴く

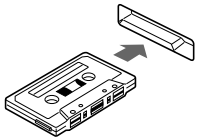


カセットテープを入れる

オートメタルセレクト機能について

メタル･クロームテープ(70 µsec)を入れると、自動的にメタルポジションに切り換わります。

カセットテープ挿入口にテープを入れる



→演奏が始まります。

- カセットテープは、テープ面を右側にして、まっすぐに入れてください。
- エンジンキーがONまたは本機の電源がONのときにカセットテープを入れると、「LOADING」と表示し、どのモードからでもテープモードに切り換わって演奏が始まります。

⚠注意

カセットテープ挿入口に手や指を入れないでください。また異物を入れないでください。

カセットテープを取り出す

イジェクトボタンを押す

⏏

→カセットテープがイジェクトされます(「NO CASS」を表示)。

すでに入っているカセットテープを聴く

ファンクションボタンを押して、テープモードを選ぶ

FNC

→テープモード以外のときにテープモードに切り換えると(「PLAY」を表示)、テープが入っていれば演奏が始まります(ランニングインジケータを表示)。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードは次のように切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオモード → テープモード → CDチェンジャーモード → ラジオモード

- カセットテープが入っていないときは、「NO CASS」を表示します。

演奏を止める(一時停止)

プレイ／ポーズボタンを押す

►/II MUTE

→「PAUS」を表示します。

■演奏を再開するには

もう1度プレイ／ポーズボタンを押す

→プレイ/ポーズボタンを押すたびに、演奏／一時停止を繰り返します。

早送り / 巻き戻しする

モニター機能について

テープの早送り／巻き戻し、または頭出し動作中に他のモードに切り換えた場合、テープメカニズムは、これらの動作が終了してから止まります。

早送りするときにはサーチアップボタン、巻き戻しするときはサーチダウンボタンを押す

巻き戻し ◀◀ ▶▶ 早送り

→テープが早送りされて終端に来ると、自動的に裏面の演奏が始まります。巻き戻されて始端に来ると、自動的にその面の演奏が始まります。

次の曲 / 演奏中の曲の頭を選ぶ (APC)

次の曲はサーチアップボタンを2回押し、演奏中の曲の頭はサーチダウンボタンを2回押す

前の曲(または曲の頭) ◀◀ ▶▶ 次の曲

カセットテープの演奏面を切り換える

オートリバース機能について

演奏中にテープが終端に来ると、自動的に演奏面が切り換わります。

バンドボタンを押す

BND

→演奏面が切り換わります。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について

テープ内の全曲を10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す

PS/AS･SCN

→「**SCN**」が点灯し、演奏している曲の次の曲から、スキャン演奏します。

■探している曲が演奏されたら

もう1度、スキャンボタンを押す

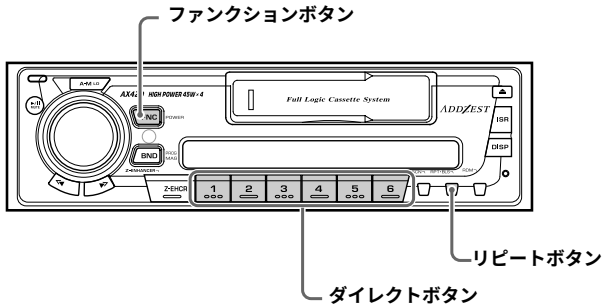
→「**SCN**」が消灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

ご注意

次のようなテープは、スキャン、リピート、ブランクスキップができません。

- **録音レベルが低いテープ。**
- **曲間の無録音部が4秒以下のテープ。**
- **曲の途中に長い休みがあるテープ。**
- **曲間に雑音などが録音されているテープ。**

テープを聴く



繰り返し聴く（リピート演奏）

リピート演奏について

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す

RPT・BLS

→「**RPT**」が点灯し、いま演奏している曲を、繰り返し演奏します。

■通常の演奏に戻すには

もう１度、リピートボタンを押す

→「**RPT**」が消灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

曲間をとばして聴く（ブランクスキップ）

ブランクスキップについて

テープ演奏中に無録音部分が１２秒以上続くと、自動的にテープを早送りして、録音されている部分を頭出しする機能です。

リピートボタンを押し続ける（約1秒間）

RPT・BLS

→「**BLS**」が点灯し、次の曲の頭まで早送りします。ボタンを押し続ける（約１秒間）たびに、ブランクスキップをON/OFFします。

■ブランクスキップを解除するには

もう１度リピートボタンを押し続ける（約1秒間）

→「**BLS**」が消灯し、 演奏している曲から通常の演奏になります。

CDチェンジャーを操作する

CDチェンジャーについて

本機は、別販のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。
1つのマガジンには、6枚のCDを収納できます。

MDチェンジャーについて

本機でMDチェンジャーを使用する場合は、MDチェンジャー本体の切換スイッチを「A」に設定してください。CDチェンジャーモードで使用することができます。
詳しくは、MDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

CD-ROMについて

本機で、CD-ROMの操作はできません。

ご注意

- **CD-R/CD-RWで記録されたCDディスクはご使用になれない場合があります。**

CDチェンジャーモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、CDチェンジャーモードを選ぶ

FNC

→CDチェンジャーモードになると、自動的にCDの演奏をはじめ、ディスプレイに以下の内容を表示します。

- 1 ……点灯
- トラックNo.……「TO1 000」等を表示
- ディスクNo.……「1」等を点灯

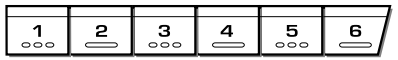
- ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切り換わります。（接続していない機器のモードは表示しません）

ラジオモード → テープモード → CDチェンジャーモード → ラジオモード

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAGA」、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」を表示します。
- CDチェンジャーモード時にディスプレイボタンを押すと、トラックNo.表示とプレイタイム表示（「TO1 000」等）が切り換わります。
- CDが入っていないマガジンのディスクナンバーは飛び越して演奏します。

聴きたいCDを選ぶ

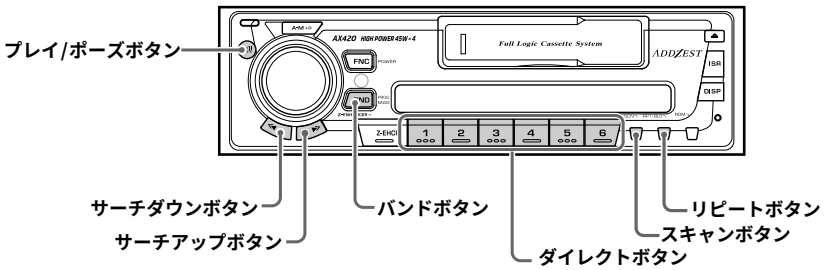
ダイレクトボタン(1～6)を押して、聴きたいCDを直接選ぶ



→選択したディスクNo.（「1」等）が点灯します。

外部機器の操作

CDチェンジャーを操作する



演奏を止める(一時停止)

プレイ／ポーズボタンを押す

→「PAUS」を表示します。

■演奏を再開するには

もう1度、プレイ／ポーズボタンを押す

次の曲 / 前の曲を選ぶ

次の曲はサーチアップボタン、前の曲はサーチダウンボタンを押す

→押した回数だけ、先の曲または後の曲を演奏します。
サーチダウンボタンを1回押すと、演奏中の曲の頭に戻ります。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチダウンボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り / 早戻しする

早送りするときはサーチアップボタン、早戻しするときはサーチダウンボタンを押し続ける

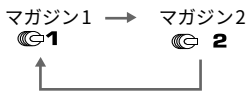
→1秒以上押すと5倍速で、3秒後には30倍速で、演奏曲を早送りまたは早戻しします。

聴きたいマガジンを選ぶ

バンドボタンを押す

→次のマガジンに切り換わり、1枚目のCDの1曲目から演奏します。

- マガジンボタンを押すたびに、次のように切り換わります。
(CDC1235の例)

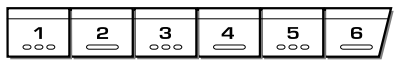


最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

1～6のディスクを演奏しているときは、演奏しているCDと同じ番号のダイレクトボタン(1～6)を押す

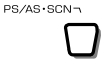


聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について

CDチェンジャー内のCDの全曲を10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



→「**SCN**」が点灯し、演奏がはじまるとトラックNo.が点灯します。演奏している曲の次の曲からスキャン演奏します。

■スキャン演奏を解除するには

もう1度、スキャンボタンを押す

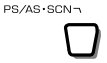
→「**SCN**」が消灯し、演奏している曲から通常の演奏になります。

聴きたいCDを探す (ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について

CDチェンジャー内の全CDの最初の曲を、10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



→「DISC」と「SCN」が点灯し、演奏がはじまるとトラックNo.が点灯します。演奏しているCDの次のCDから、ディスクスキャン演奏します。

■ディスクスキャン演奏を解除するには

もう1度、スキャンボタンを押す

→「DISC」と「SCN」が消灯し、演奏しているCDから通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す

→「**RPT**」が点灯し、リピート演奏します。

■リピート演奏を解除するには

もう1度、リピートボタンを押す

→「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

1枚のCDを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について

演奏中のCDを繰り返し演奏します。

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

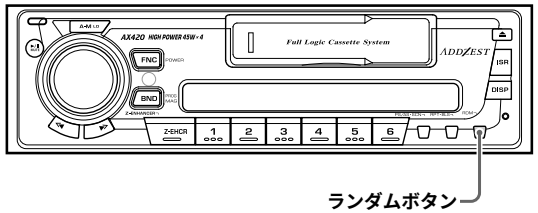
→「DISC」と「RPT」が点灯し、ディスクランダム演奏します。

■ディスクリピート演奏を解除するには

もう1度、リピートボタンを押す

→「DISC」と「RPT」が消灯し、通常の演奏になります。

▮CDチェンジャーを操作する



ランダムに演奏を聴く（ランダム演奏）

ランダム演奏について

演奏中のCDの曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す

RDM

→「**RDM**」が点灯し、ランダム演奏します。

■ランダム演奏を解除するには

もう1度、ランダムボタンを押す

→「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

全CDの演奏をランダムに聴く（ディスクランダム演奏）

ディスクランダム演奏について

CDチェンジャー内のCDの全曲を、順不同に演奏します。

ランダムボタンを押し続ける（約1秒間）

RDM

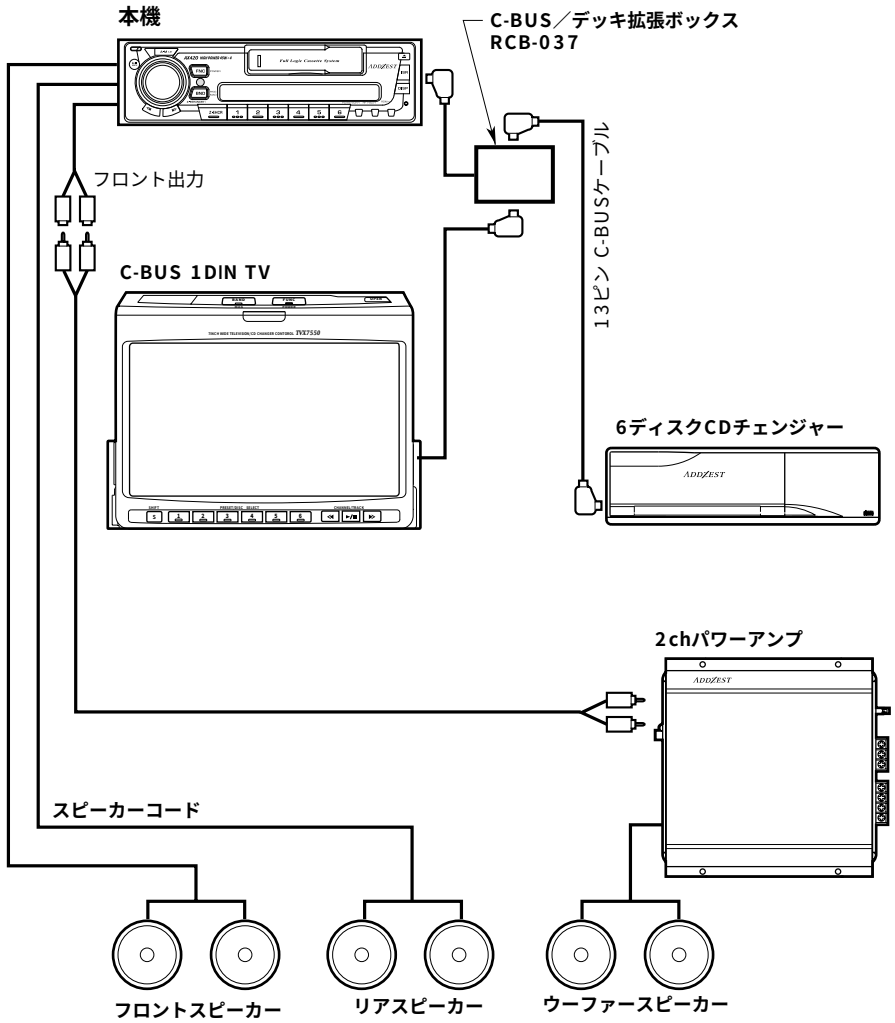
→「DISC」と「RDM」が点灯し、ディスクランダム演奏します。

■ディスクランダム演奏を解除するには

もう1度、ランダムボタンを押す

→「DISC」と「RDM」が消灯し、通常の演奏になります。

▮システム例



詳しくは、別添えの『取付説明書』をご覧ください。

システムアップについて

■ CDチェンジャーとの接続

別販のC-BUS結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。

■ CDデッキ、ビジュアルオーディオシステムユニットとの接続

C-BUS結線対応のCDデッキ(注)、ビジュアルオーディオシステムユニットなど、外部機器を操作しているときには本機のディスプレイに「ACCS」と表示されます。
上記機種の動作中、オーディオモードの調整は本機で行います。また、外部機器が動作中でも、ファンクションボタンを押すと本機の動作に切り換わります。

■ 別販C-BUS拡張ボックス(RCB-037)について

CDチェンジャーとC-BUS結線対応のCDデッキ(注)あるいはビジュアルオーディオシステムユニットなどを同時に接続する場合、別販のC-BUS拡張ボックスが必要です。
ただし、C-BUS結線対応のCDデッキ(注)とビジュアルオーディオシステムユニットなどを同時に接続することはできません。
（注）98年モデル以前のCDデッキとCDS7455等が接続できます。

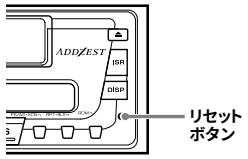
■ ナビゲーションシステムとの接続

ナビゲーションシステムは、本機に接続されるビジュアルオーディオシステムユニットと接続します。
詳しくは、テレビ、ナビゲーションのそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 外部アンプ接続時のご注意

本機に外部アンプを接続してシステムアップする場合には、バッテリーのマイナス端子を外して結線してください。
外部アンプのアースコードは確実に自動車の金属部分に接続してください。接続が不充分ですと雑音の原因となるばかりか、接続する外部アンプによっては本機の内部回路を破損する場合があります。

故障と思われる前に

現　象	原　因	処　置
電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
	配線が不完全	取付説明書をもう一度お読みになって、正しい配線にしてください。
	フェダーの位置が違う	フェダーの位置を動かしてください。
	アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
	パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
音質が悪い	ヘッドが汚れている	ヘッドを柔らかい布でふいてください。
ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときには、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に復帰します。

	エラー表示	原　因	対処方法
テープモード	TAPE ER2	テープ切りなどの不良により、演奏できないときの表示	テープをイジェクトして交換してください。
	TAPE ER3	テープが引っかかって、演奏できないときの表示	引っかかったり、巻き付いたりしたテープを取り除いてください。
	TAPE ER6	テープモードの検出ができないときの表示	テープメカニズムの故障と思われますので、販売店または弊社修理相談窓口にご
CDチェンジャーモード	CDCH ER2	CDチェンジャーのメカニズムに障害（ディスクチェンジやイジェクトができない等）が発生しているときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、お買い求めの販売店にご相談ください。
	CDCH ER3	CDチェンジャー演奏中、傷のついたディスクなどのためにピックアップフォーカスが合わないときの表示	ディスクを確認してください。
	CDCH ER6	CDが裏返しに入っていたり、8cm CDのアダプターだけが入っている場合の表示	ディスクを確認してください。

上記対処を行っても復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■ テーププレーヤー部

トラック方式	：4トラックコンパクトカセットステレオ
周波数特性	：30Hz～18kHz 30Hz～20kHz(メタルテープ)
SN比(メタルテープ)	：58dB
チャンネルセパレーション	：45dB(1kHz)
クロストーク	：50dB(1kHz)
ワウ・フラッター	：0.08%(WRMS)
早送り・巻き戻し時間	：約100秒(C-60)

■ FMチューナー部

受信周波数	：76.0MHz ～90.0MHz
実用感度	：11dBf(新IHF)
50dBクワイティング感度	：18dBf(新IHF)
SN比	：70dB(IHF･A)
周波数特性	：30Hz～15kHz ±3dB
分離度	：35dB(1kHz)
高調波ひずみ率(ステレオ)	：0.4%(1kHz)

■ AMチューナー部

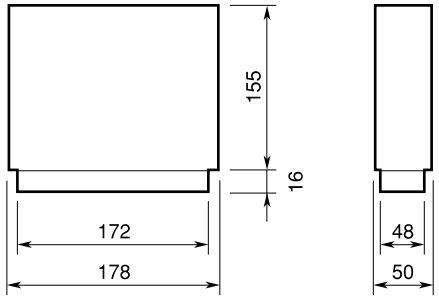
受信周波数	：522kHz ～1,629kHz
実用感度	：28dB(μV)
SN比	：50dB

■ オーディオ部

定格出力	：17W×4(20Hz ～20kHz、1%、4Ω)
最大出力	：45W×4(JEITA)
トーンコントロール	：BASS±13dB(30Hz) TREBLE±10dB(10kHz)
適合スピーカーインピーダンス	：4Ω(4～8Ω)
ラウドネスコントロール	：＋8dB(100Hz) ＋6dB(10kHz) (音量ボリューム　－32dB)
ラインアウト出力レベル	：1.8V

■ 共通部

電源電圧	：DC14.4V
接地方式	：マイナス接地
消費電流	：3A　1W時
ヒューズ定格	：10A
外形寸法	：178(W)×50(H)×171(D)mm [取付寸法：155(D)mm]
質　量	：1.3kg



■ 付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- サラネジ 4本
- セムス六角ボルト 5本
- リードクランプ 1本

※これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より 1 年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本　　社　〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製 造 番 号	

お客様へ…… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in China　2001/12（CL.C）
PA-1715A
280-7728-00